

会員紹介コーナー



上方演芸の更なる発展と継承を

春寒も次第に緩み、穏やかな日差しが本格的な春の訪れを予感させます。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、5年後には、大阪・関西万博も控える中、国外の方々も日本の文化に接する機会が今以上に増え、それを期に私たち自身も改めて自国の文化、「上方演芸」について見つめなおす機会が増えることになると思います。

不確実性の高い未来を切り開く私たちの大きな活力の源である文化、「上方演芸」の更なる発展を願い、その文化の継承に、皆さんと力を合わせ、微力ながら取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

森下仁丹株式会社 代表取締役社長 森下雄司

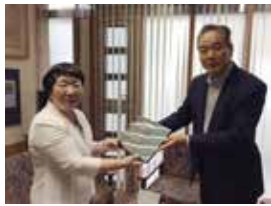
昨年5月総会にて森下雄司様は当協議会の新副会長に就任くださいました。
尚、駒村純一様（森下仁丹株特別顧問）は副会長から顧問に就任されました。



第八回関西演芸しゃべくり話芸大賞予選の審査員として、アマチュアの方から普段劇場をメインに活躍されている芸人さんまで、二日間で総勢204組の審査をさせていただきました。普段からお笑いが大好きで知っている芸人さんも多くいましたが、最良目なしの審査員としてネタを見ると、登場の仕方や、ネタ中の目線、立ち振る舞いなどで、その日のウケ方が変わっていることが印象的でした。その中でもダントツで優勝したミルクボーイがその後M-1も優勝をした時は、大興奮したと同時にとても誇らしく感じました。この大会が関西の若手芸人の登竜門となり、全国で活躍していくことを見ることが、関西演芸推進協議会のスタッフとしても、お笑いファンとしても今後とても楽しみです。

株式会社小学館集英社プロダクション 今宮 彩夏

Report



笑学ワークショップ事業にご協力いただいた皆様に感謝状をお贈りしました

当協議会が主催する「笑学」ワークショップの事業に多額の寄付金をいただきました、前田葉子さまと大光電機株式会社さまに感謝状を贈らせていただきました。

Information

笑学

(しょうがく)

漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることが出来るなどコミュニケーションがしっかり取れば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないのでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小中学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画しています。この企画は、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより、無償にてワークショップを実施しております。



笑学ワークショップの様子

2019年度 笑学ワークショップ実施一覧

8月 8日 堺市 人権ふれあいセンター	12月16日 大阪市立塚本小学校
10月28日 大阪市立関目東小学校	12月23日 大阪市立大領小学校
10月31日 八尾市竹洲小学校	1月16日 岸和田市立山直南小学校
11月 7日 吹田市千里丘北小学校	1月21日 大阪市立喜連小学校
11月18日 大阪市立平野小学校	1月27日 大阪市立成育小学校
12月13日 摂津市立島飼北小学校	2月14日 摂津市立島飼西小学校
12月15日 高台子ども会(大阪教育文化振興財団)	2月21日 大阪市立弘済小学校

会員募集中!!

関西の上質な演芸文化のために一緒に演芸を応援しませんか?

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか...

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

公式ウェブサイト <http://www.walive.org>

関西演芸推進協議会

検索



編集後記

「そ～んなやつ、おらんやろ～」、「ダ～レがじゃ～?」このフレーズが好きで、友人との会話でよく使っています。昨年の秋の「関西演芸しゃべくり話芸大賞」での「それ最中やん?」もそうなのかな?何度も繰り返されることで覚醒される言葉やアクション。そこに視覚効果、聴覚効果が相乗され、より効果が高められるのかもしれない。今はメディアによる視覚的な影響が強いと思われるが、やはり魅力的な「声」と「間」が効いているように思います。今日からはボイストレーニングでもしてみようか?まずは、体幹トレーニング?いや、何事も連呼すること、繰り返し行うことが成功への道筋になるのではないかとほんのり思っただけ…。(編集者・廣田)



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

笑ライブ 第28号

2020年3月

walive

「笑ライブ」とは...

「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

【発行】

NPO法人関西演芸推進協議会 編集部

<事務局>

大阪市浪速区湊町2-2-45

オンデックス難波ビル7F

千房株式会社内

TEL.06-6633-1430

FAX.06-6633-1435

<http://www.walive.org>

info@walive.org

INFOMATION

いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただき、会員の皆さまには厚く御礼申し上げます。「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を間近に控えることから、日本全国、世界各地から関西を訪問される方が増えることも予測されます。これを機会に関西の演芸、および伝統文化の認知度が高まるよう、協議会の活動もその役割を果たせられればと思います。活気づく関西を舞台に、『関西の「演芸文化・伝統文化」伝承のための活動』をサポートしてまいりたいと思います。

CONTENTS

☆「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催2頁

☆2020年度「新春例会」開催3頁

☆2019年度「総会・懇親会」開催

☆会員紹介コーナー4頁

☆「笑学」のご案内 他

道頓堀リバーフェスティバル「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」

「ミルクボーイ」がグランプリ受賞!!

続きは次項でご紹介しています...



ミルクボーイ駒場です。
10月に関西演芸しゃべくり話芸大賞で優勝させて頂き、自信がつきましてM-1まで走り抜けることができました!本当にありがとうございます!
これからも漫才を大切に頑張っていきたいと思います。
こちらからもよろしくお願い致します。

ミルクボーイの内海です。
賞をいただいてから自信を持って、M-1を優勝することができました。ありがとうございます。
みなさまによりよくお伝えください。また今後ともよろしくお願い致します。

道頓堀リバーフェスティバル「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催

予選

2019年9月14日(土)・15日(日)
於)道頓堀ZAZA POCKET'S

優勝決定戦

2019年10月12日(土)
於)YES THEATERグランプリ
ミルクボーイ準
グランプリ
ラフ次元

2019年10月12日(土)、YES THEATERにて「第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞」優勝決定戦が開催されました。9月14日(土)、15日(日)に開催された予選には204組のエントリーがあり、激戦を勝ち抜いた10組が決戦へ。決勝戦では会場入りをする芸人さんの気迫に溢れる面持ちを感じながら「どんな賞レースになるのだろうか?」と期待感でいっぱい…。いざ本番!会場はたちまち笑いの渦に包まれ、あっという間に賞レースも終了。審査結果が出るまでの間は、2019年3月に襲名披露された小文枝師匠の落語をお客様にお楽しみいただきました。

審査は難航の末、グランプリ受賞者は「ミルクボーイ」、準グランプリは「ラフ次元」に決定!僅差での賞決定となり、昨年のレベルを更に超える大会でした。

また、その2ヶ月後に行われた昨年のM-1グランプリにおいて、ミルクボーイが優勝。協議会が8年に亘り続けてきた今大会からの実力者の誕生と飛躍に、大きな喜びを感じました。これからも関西を代表する話芸大賞となるよう、ますます盛り上げていきたいと思います。

最後に、台風の中ご来場いただきました皆さまと、ご協力、ご支援くださいました皆さまにあらためてお礼申し上げます。

第8回関西演芸しゃべくり話芸大賞の
YouTube アップ動画で
ミルクボーイは約92万回
観られています! その他のSNSでの視聴回数も上昇中!!
※第8回開催の他のアップロード動画も約1,000~15,000回の
視聴回数が確認されています!



2020年「新春例会」開催

2020年1月28日(火)
於)スイスホテル南海大阪

2020年1月28日(火)スイスホテル南海大阪において、難波スイス会、関西演芸推進協議会の合同新春例会が開催され、450名の皆さまのご参加で大盛会となりました。

今年は触太鼓で例会が始まり、一年の福德を祈願して、今宮戎神社の福娘さん5名により、更に開식을華やかに迎えました。

また、元二子山部屋に入門の後、四十五代横綱初代若乃花の付き人として側近で過ごされ、相撲道を極められた間口グループ会長の前田克己さまによる相撲甚句は厳肅な雰囲気も。演芸文化と共感できる可能性を感じるひとときでした。

さらに、ゲストの桂福團治師匠、桂文福師匠、金井克子さん、藤山新太郎さん、乾龍介さん、大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の梅田総監督、宮川さゆみさんもご挨拶くださり、会場の皆さまを楽しませてくださいました。

その他、さまざまな業界からご列席いただいた会員の皆様との和やかなご歓談のひとときは、新しい年を共に迎えることのできた慶ばしい宴の席になったことと思います。

本年も皆様の「笑門来福」の一年となりますことを祈念すると共に、ご列席いただきました皆さま、関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。



相撲甚句を披露くださった間口グループ前田克己会長



開式の挨拶をされる小野会長

※ 相撲甚句とは: 江戸時代から力士の間で歌われてきた。地方巡業などの取組前に、土俵上から独唱する七五調の囃(はやし)歌。「ドスコイ、ドスコイ」の合いの手が入ります。
※ 櫓打ち分け: 櫓太鼓の打ち分けは、「寄せ太鼓」、「一番太鼓」、「はね太鼓」の3つの打ち分けが特徴。特にはね太鼓は相撲の取り組みが全て終了すると同時に打たれる太鼓で、皆様に向かい「御機嫌ようお帰りください。また明日もお出でをお待ちしております。」という思いが込められて打たれています。したがって1日興行や千秋楽では打たれていません。
※ 触太鼓: 相撲で、初日の前日に、呼び出しが太鼓をたたきながら興行が始まることを町中に触れ回ること。また、その太鼓。



ゲストの皆さま

特別ゲストの桂文福師匠による河内音頭

櫓太鼓打分

福娘の皆さんによる福笑い・抽選大会

間口グループ「ドラムカーニズ」さんによるショータイム

2019年度「総会・懇親会」開催

2019年6月13日(水)
於)スイスホテル南海大阪

2019年6月13日(水) スイスホテル南海大阪において、2019年度「総会」が開催されました。前年度の事業報告と今年度の事業計画・収支予算案をご提案。満場一致でご承認いただき、新しい年度をスタートさせることができました。

第二部では、講談師の旭堂南陵師匠による基調講演。4月に発行されたご自身の著書「辞典にない大阪弁」にちなんで、大阪弁の歴史や現在使われている大阪弁の違いなどを講じられ、会場は笑いの渦…。最後は「鼓ヶ滝」の講談一席を楽しませていただきました。



ご講演いただいた旭堂南陵師匠